

## 2 12月の見通し

### 野菜

生育初期に高温の影響を受けた品目や、日照不足や高温で病害虫の被害のあった品目が目立つ。全体として前年よりも若干の数量減を見込むが、「ねぎ」「ほうれんそう」等作付けの増えている品目もある。

「だいこん」「はくさい」等葉菜類は順調な入荷を見込む一方、「きゅうり」「ピーマン」等果菜類は高温により樹勢が弱っている産地が多く、比較的少ない出荷水準となる見込み。特に、寒波が到来して気温が低下すると一気に数量減となるおそれもある。

野菜全体では、入荷量は前年並、価格は前年並で平年をかなり上回る見込み。

### 果実

「みかん類」「りんご類」「いちご類」を中心に入荷する。

「みかん類」は「早生みかん」から「普通みかん」へと切り替わるが、着色が遅れた分が12月に出回る見込み。西南暖地産は裏年かつ作柄不良で入荷量は前年をかなり下回る見込み。価格は平年と比べてかなり高い見込み。

「いちご類」は年内の入荷は問題ないと見込まれるが、年明け以降は今後の生育に左右される。年内の入荷量、価格共に前年並となる見込み。

果実全体では、入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (主産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	⇒	⇒	↗↗	↗↗	主産県は千葉県、神奈川県。11月が高単価だったことから収穫が前進傾向となっており、12月は大きなピークはない見込み。夏期の高温乾燥、その後の降雨による病害が発生していたが、回復傾向となっており、全体の入荷量は前年・平年並を見込む。
にんじん	↘↘	↘↘	↗↗	↑↑	主産県は千葉県、埼玉県。高温乾燥に伴う生育遅れからは回復しつつあるが、入荷量は、肥大が緩やかなため、前年・平年ともに1～2割下回る見込み。
キャベツ類	⇒	⇒	↑↑	↑↑	主産県は愛知県、千葉県、神奈川県。各産地夏期の高温を受け、生育の遅れが続き小玉傾向。中旬～下旬にかけて回復基調となり、安定出荷が見込まれる。前年・平年並の入荷量を見込む。
ねぎ	⇒	↘	↘↘	↗↗	主産県は茨城県、千葉県、埼玉県。作柄が悪く、上旬は太物が少ない見込み。夏ねぎ作業との兼ね合いもあり、本格的な入荷となるのは中旬以降で、入荷量は不作だった前年並で平年をやや下回る見込み。
きゅうり	⇒	↘	↗↗	↗↗	主産県は宮崎県、千葉県、高知県。高温や天候不順による株の徒長が一部産地で見受けられるが、全体としては前年並、平年をやや下回る入荷量を見込む。
トマト	↘↘	↘↘	↗↗	↑↑	主産県は熊本県、愛知県。各産地、夏期の高温と10～11月の曇雨天による着果不良で入荷量が減少している。12月中旬以降回復する見込みとなっている。遅口の産地も出てきて日々微増となっているが、全体の入荷量は前年・平年をかなり下回る見込み。
			増加	減少	

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6～15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3～5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上